

東海村芸術祭2022

東海美術連盟展100回

理事長 棚井 哲雄

東海村芸術祭2022は5月15日(日)からの写真連盟からスタートしまして6月11日(土)の美術連盟までの4週間にわたりまして東海ステーションギャラリーにて行いました。

コロナ禍も、だいぶ落ち着いてきたことを受け(とはいえまだ予断は禁物かも)久しぶりに参加者全員で展示もすることが出来まして会員相互のコミュニケーションもでき素晴らしい展覧会になりました。

今回は、回を重ねる事『東海美術連盟展100回』という事で節目を記念して、いつものキャプションに各人の思い、例えば作品を制作している時の思い、美術を始めたきっかけ、絵画或いは彫刻とこれからも関わっていききたいという思い等々、今感じていることを何でも良いのと言う事でコメントを書きいただきました。これが意外に好評でして、他の連盟の方からもこういう事は良かったですと称賛され

ました。一般の方も、まずコメントを読んで作品を鑑賞するという事で作品を理解できましたという方もありました。出来ればすべてのコメントを回収して統一した形で飾れば更に良かったのではと、事務局として反省しております。また、相互理解と言う事から、他の連盟の作品を鑑賞する機会でもありますのでこれからも東海村の文化発展にお互い頑張っていきたいと思えます。東海村芸術祭2022は、美術連盟は52人、52点の展示となりました。また来場者はギャラリーA、B合計で493人でした。

最後になりましたが、毎日、長時間にわたり当番をして頂きました方、大変ご苦勞様でした。この後の連盟の行事としましては8月2日・3日に裸婦デッサン会を開催予定です。お誘いあわせのうえ、ご参加ください。



創設メンバーのレジェンドから新しい方も。みんな みんな一生懸命(展示作業を終えて全員集合)



東支部 川崎千恵子さんに

Tea タイム

- 絵を描こうと思ったきっかけは何ですか？
▲ 我が家の子どもたちが、お世話になった絵画教室の先生にお願いし、小、中学生と一緒に教室に通わせていただいたことがきっかけです。
- 絵画はもとより、山野草・陶芸と多方面で活躍されていますが、その魅力を簡単に教えてください。
▲ 山野草は子どもの頃、野山や田畑の畦が遊び場でしたので野の花には親しみがありました。芽吹きに元気をもらい、可憐な花たちに癒されます。
陶芸は始めたばかりですが、粘土のやわらかい感触に癒され、形造ることの楽しさに魅力を感じます。
- ずっと絵を描き続けるためにも、心がけていることがありましたら教えてください。
▲ 描きたいと思うものや自然をよく観察しようと心がけています。
- 美術館巡りがお好きだそうです、特に心に残った美術館や展覧会がありましたら。
▲ 18年位前に、東京国立近代美術館で開催された“ゴッホ展”は印象に残っています。

ゴッホは美術の授業で学びましたが、実際、絵を観ながらゴッホ自身の生きづらさを感じ、周囲のあたたかい支援者に支えられたことなど、絵以外のことにも触れることができたのを覚えています。

- なかなか収まらないコロナ禍ですが、コロナ禍が収束したら、まず何がやりたいですか？
▲ なかなか会えずにいる旧友たちと温泉に行き、おいしいものを食べたいです。



ハッカクレン
「やっと咲きましたー」丹誠込めた八角蓮の前で

スケッチを美術館巡りに変更

5月27日は福祉バスをお借りして、久しぶりのスケッチの予定でした。当日は朝から雨、作品制作のチャンスは残念ながら消え、いわき市立美術館と天心記念五浦美術館を巡って来ました。

いわきは松本竣介と昭和モダン(大川美術館と糖業協会のコレクション)で、日本近代洋画史に欠かせない有名画家たちの絵が網羅されていて、魅了される作品が沢山ありました。

皆様、一点、一点じっくり観ておりました。身近な花や風景、人物、抽象、デッサンなど幅広く展示され、ハッとさせる構図や色彩など、観ている内に胸が熱くなって来ました。

お昼は美術館の中のレストランでアクリル板で仕切られた中、大人しく食事をし、午後は天心美術館へ。25周年記念で箱根の成川美術館のコレクション展です。

西支部理事 中田 里美

戦後の日本画の代表作で、花に関する大作の数々、皆、素晴らしい作品に圧倒され、花々の彩りに心踊らせておりました。

久しぶりに沢山の絵を鑑賞し、感動に心癒されるひとときを過ごすことが出来ました。参加者12名、素敵な絵を見られる機会でしたのに、少なくて残念でした。お疲れさまでした。



雨のせいか、来館者は少なく、ほとんど貸し切り状態

令和4年度総会開催

副理事長(事務局長) 佐藤 富夫

東海美術連盟総会が3月27日(日)真崎コミュニティセンターで塙事務局員の議事進行で予定通り開催されました。

議事と事業報告は、昨年までは故堀川事務局長が行っていましたが、今年は叶わない総会となりました。昨年の行事実績報告では芸術祭、文化祭、新年会、アートロードと総会それ以外の行事についてはコロナ禍の脅威の影響で殆どが中止となった寂しい一年間でした。

決算についても事業減少のため予算の半分以上でしたが、今年度こそは事業計画全てが実施できる事を願いつつ例年通りの予算計上を行い快諾を頂きました。

新役員では会計に川崎志保さん、事務局員に安土重春さん、西支部理事に中田里美さん、南支部理事に安久則さん、彫刻支部副理事に鈴木綾子さん、会計監査に奥野光江さんが選任されました。よろしく願いいたします。副理事長と事務局長に佐藤富夫が兼務、昨年まで役員だった皆さん大変お疲れ様でした。



今まで使っていた部室がなくなり、このままでは彫刻部の存続が危ぶまれるとの発言がありました

内容の説明、更に、今まで編集委員として尽力をいただいた木村隆さんがリタイヤとの報告がありました。長期間お世話になりました。

更に、会則の慶弔規約の変更、絵画教室の日程、彫刻支部の活動予定の報告、その他、芸術祭、文化祭、派遣事業、部室についても意見交換をし、閉会に至る総会でした。

当日参加会員は31名、全員がマスク着用で其々の表情は解りませんでした。マスクの下は、きっとやる気満々の顔が隠れていたんでしょう。コロナの終息もどうなるか不明なところですが、今年も東海美術連盟の活動にご協力をお願い致します。

公募展だより いばらきねんりん文化祭

入賞・入選おめでとうございます

令和4年わくわく美術展(ザ・ヒロサワ・シティ会館) 2月26日(土)~3月3日

彫刻の部



茨城県知事賞
青年 関根 幸雄

洋画の部



Kさん 鴨志田 範夫



静寂 豊島 和久



再会 佐藤 光保

第53回 水戸市芸術祭(水戸芸術館) 5月31日(土)~6月10日

(出品委嘱の方の作品は紙面の関係で掲載いたしません)

日本画



特賞(水戸市長賞)
馨る夏 川崎 志保

彫刻



優賞(水戸市議会議長賞)
ポーズせるモデル 関根 幸雄



優賞(水戸市教育委員会教育長賞)
夏の河 鈴木 しのぶ



PEACE(平和) 薄井 寛子

洋画



古都 鴨志田 範夫



ZASHIKIWARASHI II 齋藤 七重



休日 奥野 光江



何処へ 山崎 克一

Information

第31回 アートフラッグ展	7月3日~7月9日(10時~18時)	東海ステーションギャラリーA 【加藤木/高橋他】
第62回 ノン・ブラック展(絵画ほか)	7月14日~7月19日(9時30分~17時)	ザ・ヒロサワ・シティ会館 【照沼他】
ジュディ展(洋画)	7月17日~7月23日(10時~18時)	東海ステーションギャラリーA 【中田/木梨他】
裸婦デッサン会	8月2日・3日(10時~16時)	東海文化センター大会議室
第34回新構造支部展(絵画・版画・彫刻・工芸)	8月28日~9月3日(10時~18時)	東海ステーションギャラリーA 【石山/高橋他】

記事お知らせがありましたら

パレット編集員: 塙・高野(カット)
塙携帯 080 5682 0625
Eメール: art651222@gmail.com

【編集員からお詫びと訂正とお願い】

パレット116号、東海村子ども芸術祭の記事で、「令和3年子ども芸術祭第1回が開催され」とありましたが、第1回は平成24年の誤りでした。これは編集員が加筆したためで理事の棚井さんにはご迷惑をおかけしました。これからはなるべく加筆をしないで原文を心がけたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。

インフォメーションも展覧会、個展などに出品されているのに編集員のところに情報が届きません。できるだけ載せていきたいと思しますので、遠慮無くお知らせ下さい。